

# ハーモニー



## (第8号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会  
電話 22 - 2212 FAX22 - 3910 メール kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

### 『市議会議員さんと子育て支援について語りましょう!』開催報告

8月30日(木) 市民文化会館において、男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会(伊澤代表)の主催による「市議会議員さんと子育て支援について語りましょう!」が開催されました。



少子化や核家族化の進行、地域コミュニティの低下、女性の社会進出、ライフスタイルの多様化などにより、子育てを取り巻く環境は年々厳しさを増しています。しかし、男女共同参画の推進に向けて、少子化の解消や女性の社会への参画、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)などを進めるためには、「子育て支援の充実」が解決すべき大切な課題となっています。

市民懇話会では、現在の「子育て」を取り巻く環境や「子育て世代」の抱える問題や要望を把握し、今後の子育てに向けた思いを幅広い人と共有していくことを目的に、市議会議員さんを含めた意見交換会を開催したものです。

意見交換会に向けて募集した意見集には108の方が意見を寄せて下さり、当日も議員さん8名を含む47の方の出席をいただき、大変活発な議論が交わされました。この会議が、これから下田市が「子育てのしやすいまち」となるようにみんなで手を取り合っていくきっかけとなったものと思います。今回のハーモニーは、この意見交換会の様子を特集します。

ハーモニーに関するご意見やご感想、掲載内容に関するご要望をお待ちしております。

下田市役所企画財政課 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号

FAX: 0558 - 22 - 3910 メール: kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

## 『会場での意見や皆さんから寄せられた意見』

### 1) 未就園児を中心とした日々の子育て・親育て支援

#### 【意見交換の概要】

廃止された蓮台寺パークに替わるサービスの工夫や配慮を望みます。例えば、地元の子どもを連れて行く場合の海辺の駐車場料金の割引や子どもたちが気軽に敷根プールを使えるような利便性の向上などを検討してもらいたい。

第三保育所に併設されている子育て支援センターは、保護者のニーズも期待もとても大きい。しかし、併設によるサービスの限界も指摘されており、独立した施設など基本的な支援センターのあり方を検討すべき時期に来ている。

保育園に行く前は同じ年の子を持つママたちと知り合う機会がなかった。第三保育所のおもちゃ箱を利用しだして、たくさんの人と知り合うことができた。こんな場所が母子だけにいる人には必要だと思う。もっとこんな機会を作ってあげべきだ。(20歳代女性)

今年はとても暑かったが、蓮台寺パークで遊べなかった。敷根は小さな子供向けの設備がない。もう少し利用しやすく改善してもらいたい。また、海へ行くと駐車料金がかかる。地元の親子向けの減免などはできないかと思う。(女性)



子育てサロンが欲しい。前に住んでいたまちでは、ふれあいサロンに毎日のように通った。保母さんや他のお母さんたちと日頃の悩みや子育ての楽しさなど話すことができたし、ママ友達も作ることができた。0歳でも子ども同士の刺激を受けるようだし、普段子どもと二人きりで過ごすことが多くても本当に助かった。このサロンでは、一時預かりもしていたので、急な通院などの時も安心だった。ぜひ下田にもこんな子育てサロンを作っていただきたい。(女性)

### 2) 乳幼児の医療費等の経済的支援

#### 【意見交換の概要】

子育て世代への経済的な支援として、金額、期間など様々な視点で今後も検討を進めてほしい。

乳幼児医療費の助成については大変助かっている。少しでも心配な時には迷わず病院にかかることができる。でも、学校に上がった子どもはなかなかそうはいかない。少しくらいなら市販薬で様子を見ようと思ってしまう。保育園と較べると確かに身体は強くなってきてはいるが、まだまだ病院にかかることが多いので、現行の未就学児までを少し延長してもらいたいと思う。(30歳代女性)



### 3) 放課後学童保育や児童館施設等の支援

#### 【意見交換の概要】

働く女性が増加する中で、学童保育クラブを市内で増やしていくことは、大きなニーズとなっている。早急に、学童保育クラブのあり方や内容について、充実の方向で検討していただきたい。子育て支援は、子どもに対する支援であり、親に対する支援でもある。児童館の新設は困難だと思うが、親子の交流ができる拠点は不可欠であり、アイデアを出し合って実現をしていきたい。子育て支援は、行政が提供するサービス以外にもボランティアの提供する支援もある。こうした様々な活動にも支援の輪も広げていきたい。



母親の就業率が年々高くなっていると思う。保育園までは安心して仕事ができしたが、就学してから一部の学校を除き、長期の休み以外の学童保育がないことがとても残念だ。また、年齢も小学校3年生までとなっているが、できれば小学校6年生まで、地域の学校で学童保育が実施されると助かる。(40歳代女性)

最近は共働きの家庭が多く、地域との関わりが薄くなっており、子どもだけの留守番は不安だ。学校や友達の家が離れており、子ども同士の関わりも少なくなっている。休日などでも子どもたちが安心して遊べる場所や集まれる場所が学校の近くにあればいいと思う。(30歳代女性)



### 4) 産婦人科、小児科等の医療施設の充実に向けた取組み



#### 【意見交換の概要】

産婦人科の確保を図るため、共立湊病院への診療科目の充実を要請していきたい。また、休日、夜間の救急医療に対応する救急センターの整備を要請していきたい。

第1子は少し無理をして天城越えをしてでも産める。でも第2子以降はいろいろ考えると怖くなるという。産科の減少は全国的な傾向であるが、嘆いてばかりいても先に進めない。議員さんに積極的に動いてもらい、例えば共立湊病院に産科を作ってもらいたい動きをしていきたい。(女性)



産婦人科が少ないため、わざわざ遠くまで行き、産んでいるケースも多くあるのが現状だ。大きなお腹を抱えて検診に行くのは本当に大変だと思う。安心して子どもが産める産婦人科がもっとたくさんあると子どもの出産を考える親も増えるのではないと思う。(30歳代女性)

## 意見交換会を終えて！ = 参加された皆さんの感想 =

こういう形で議員の皆さんと子育て支援について意見交換できる場ができたことはいいことだと思う。市議会議員とは選挙の時だけという印象がある。ぜひこういう場で市民の声を拾っていただき、どうしたらいいのかを一緒に考えていただきたい。(女性)

要望や意見をこんなに沢山の方が持っていないながら、それを伝える窓口が無かったのではないのでしょうか。このような会が大切にされたら、このような声が届けられたら、住み良い下田になるのでは……。市民の声を受け入れてもらえることを期待します。(女性)

議員として「子育て支援」をテーマにした意見交換会に参加しました。皆様からは、蓮台寺パークの代替施設、産婦人科や小児救急等への心配、夏休み中の海水浴場の駐車場割引等、数多くの意見が出されました。こうした意見を大事に、これからの議員活動に生かしていきたいと思います。(議員)

子育て中の方のアンケートを読んで、自分の時もそうだったなあと思う事ばかり。でも時間が過ぎて忘れがち。当事者から意見を聞く機会を議員の方々には増やしていただいて、子育て支援に限らず、下田市のためになる政策を考えていただきたいと思います。(女性)

子どもを抱えている女性は子育てに追われる毎日で、市政に対しての意見があっても表に出すことはできない環境にある。このような形で、市民に率直な意見を求めることで、本当に必要な支援が何かということが見えてくるのだと思う。この姿勢を崩さずに続けてほしい。(男性)

**<お知らせ>**  
皆様から寄せられた意見集、当日の発言をまとめた開催報告があります。ご希望される方は、市役所担当まで御一報ください。  
**【担当窓口】**  
下田市役所企画財政課  
電話 22 - 2212 ・ F A X 22 - 3910

### 【意見交換会を終えて】男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会 伊澤代表

子育て支援は、出産を巡る医療の問題から学童の放課後の保育・教育施設の統廃合の問題に至るまで、実に幅広い多くの課題を抱えていることを、たくさんの皆さんからのアンケート、そして当日の熱心な討議から実感しました。子育て支援は、「未来を託す子どもたちへの支援」です。子育てに悩む母親だけでなく、市議会議員さんを含め、すべての人と語り、知恵を出し合い、私たちにできることを進めていきたいと思います。こうした意見交換会を開くこと、それも大きな子育て支援のひとつであると考えます。今回をスタートに、皆さんとともにこれから頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、この事業の実施にあたり、お世話になりました多くの皆様に、この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

男女共同参画情報紙「ハーモニー」は、下田市役所ホームページでもご覧いただけます。

アドレス <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/> 下田市役所(Top 行政 男女共同参画)